ID:	=患者情報!B1		
患者氏名	=患者情報!B2	殿	
年齢 性別	=患者情報!B6	=患者情報!B7	=患者情報!B8

（ ハラウ゛ェン+フェスコ゛ ） 療法

施行日	クール

入院/外来		入力日		年		月		日
疾患名	乳癌	開始日		年		月		日
クール	3週毎	診療科						
備考	フェスゴ:3週毎 ハラヴェン:Day1、8	医師名						

適応基準	☑ 1st Line ☐ 2nd Line ☐ 3rd Line以降 ☐ 術前 ☐ 術後補助 ☑ 進行 ☑ 再発 ☑ HER2陽性	告知の有無		P S		同意書取得	☐ 済	
		身長		cm	体重		kg	体表面積 0.00 m^2

重要	B型肝炎の再活性化(de novo B型肝炎)対策として、右記の検査が未実施の場合は、全例スクリーニング対象となります。化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。 ※詳細については、『化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～』をご参照下さい。	☐ HBs抗原 ☐ HBs抗体 ☐ HBc抗体

薬品名	単位	薬品名	単位	薬品名	単位	外来化療加算
フェスコ゛配合皮下注 初回	IN 1瓶（固定用量）	フェスコ゛配合皮下注 2回目以降	MA 1瓶（固定用量）	エリブリン 1.4	☑ mg/m^2 ☐ mg/body	☑ A ☐ B ☐ 対象外

レジメン内容

初 回

ボトル① ［皮下投与］
フェスコ゛配合皮下注 ［ペルツズマブ・トラスツズマブ・ボルヒアルロニダーゼ］ IN 1瓶

ボトル① ［皮下投与］
※大腿部に投与
前回注射部位から2.5cm以上離す

↓ 8分

ボトル①'（初回のみ）
生食液(100) 100 mL

ボトル①' 経過観察（30分）

※infusion reaction確認

↓ 30分

ボトル② ［D.I.V］
エリブリン注 ［ハラウ゛ェン］ ☐ mg
生食液(50mL) 50 mL

ボトル② ［D.I.V］

↓ 2～5分

2 コース目以降

ボトル① ［皮下投与］
フェスコ゛配合皮下注 ［ペルツズマブ・トラスツズマブ・ボルヒアルロニダーゼ］ MA 1瓶

ボトル① ［皮下投与］
※大腿部に投与
前回注射部位から2.5cm以上離す

↓ 5分

ボトル①'（2コース目以降）
生食液(100) 100 mL

ボトル①' 経過観察（ 15分！）

※infusion reaction確認
★忍容性良好であれば15分に短縮可

↓ 15分★

ボトル② ［D.I.V］
エリブリン注 ［ハラウ゛ェン］ ☐ mg
生食液(50mL) 50 mL

ボトル② ［D.I.V］

↓ 2～5分

※ Day8は ②ハラヴェンのみ ※

ハラヴェンの投与量設定(参考)・・・ 1.4mg/㎡ ⇔ 1.1mg/㎡ ⇔ 0.7mg/㎡ ⇔ 投与中止

投与量が0.5mg/bodyを下回る場合は、希釈する生食液の用量調整が必要となります。
※※薬剤部までお問合せ下さい。※※

★ 希釈する場合は、必ず生食液を使用すること(5%ブドウ糖液は不可)
★ 0.01mg/mL未満の濃度に希釈しないこと。[2014年2月改訂より]
※生食液50mLに対して、エリブリン注の用量が0.5mg未満にならないように注意すること
→ その場合は、0.01mg/mL以上になるように生食液の用量を調整(抜き取る)こと

注意事項など

前回投与日から6週間以上経過した場合、
フェスゴ配合皮下注は初回投与量に戻すこと。

	1Kur目			2Kur目	
Day	1	8	15	22	……
フェスゴ【IN】	↓				……
フェスゴ【MA】				↓	……
ハラヴェン	↓	↓		↓	……

備考	確認者	監査者